



愛の手を

バプテスト心身障害児(者)を守る会

第207号

発行責任者
社会福祉法人 バプテスト心身
障害児(者)を守る会
重症心身障害施設 久山療育園
重症児者医療療育センター
理事長 宮崎 信義
編集責任者 中村 晴光
福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
☎(092)976-2281
FAX (092)976-2172

「新年度を迎えて」

センター長 岩 永 知 秋

新しい
年度を迎
えるにあ
たり、ご

挨拶申し上げます。新型コロナウイルス感染症も丸2年が経過しましたが、いまだに終息の機運が見えません。新たな変異株が出現することに臨床像が異なるため、私たちの対応もそのつど変えていかなければならなくなっています。現在のオミクロン株は、ウイルスとして肺炎を起こすなどの直接的な毒性はデルタ株より弱くなっているものの、感染力がはるかに強く、しかもここに至って中高齢者に死亡者が増えてきました。基礎疾患や老化に伴う免疫力の低下が、中高齢者の重症化、死亡者の増加を招いているようです。ウイルスとして弱毒化してきたのは確かですが、二次的に高齢者の基礎疾患の悪化を招くという新たな問題が表出し、このウイルスの終息の道筋は見えてきません。3回目のコロナワクチンの接種は2回目の接種から6か月後を目途に進められており、また5〜11歳の小児への接種も3月から開始と

なりましたが、他諸国に比べて今なお接種は遅れています。感染者とともに濃厚接触者の隔離も社会経済や学校教育などに問題を引き起こしており、国としての舵取りも難しい局面を迎えています。

コロナ禍とともに、ここ

にきてロシアのウクライナ

侵攻が人類の将来に暗い影

を投げかけています。20世

紀は「戦争の世紀」と呼ば

れ、第一次・第二次世界大

戦が多く、国々に大きな傷

跡を残しました。21世紀に

なり中東やアフガニスタン、

ミャンマーなどで局地的な

戦争は起こっていました。今

回ははるかに違うレベル

の戦いです。冷戦時代、超

大国は核戦争の脅威を十分

認識し、お互いが直接牙

をむきあう戦いだけは賢明

にも避けてきました。しか

し今回超大国ロシアが、し

かも戦術核使用の脅しをか

けながら、他国の主権を侵

し、力による現状の変更を

行おうとしています。これ

は欧米ならずが国にも多

大な影響をもたらす、新たな段階の戦争となりました。資源、エネルギー、金融をはじめ、世界全体の政治経済から文化・スポーツなど広範囲で制限がかかることばかりです。アジアでも不穏な空気がある中、万が一にも第3次世界大戦に進まないことを祈るばかりです。

「国のため武器をもつとう

人々を春の雨降る日本に思

う」(K. I.)

感染症と戦争は過去の世紀で一定の終末を迎えたものと思っていました。この21世紀においても、私たちの社会を揺さぶり続けることがよくわかりました。この小さな地球上に暮らす人類の宿命なのでしょうか。138億年の宇宙の歴史、46億年の地球の歴史を考えると、本当に瞬間のことに過ぎないのでしょうか。100年くらいの人生しか生きられない私たち人間にとっては、心塞がる大問題と なっています。どうか明るい未来を信じることでできる世の中になることを切実に希望します。(次頁に続く)

このような時代に私たちができることは、一人ひとりが自分のできることを地道に積み重ねていくことしかないようです。

国連はSDGs（持続可能な開発目標）として17項目の達成目標を掲げています。世界のいろいろな企業はこれを踏まえ、ESG（環境、社会、企業統治）に十分に配慮することが求められ、投資家もこの配慮を欠いた企業には投資をしない方向へと急速に向かっています。SDGsの目標の中には、「すべての人に健康と福祉を」「ヒトや国の不平等をなくそう」「平和と公正をすべての人に」「パートナーシップで目標を達成しよう」など、障がい者の方々と共生するインクルーシブな社会の実現に向けたメッセージが含まれます。ともすればソーシャルメディアなどで他者への批判・非難の応酬が目立つ昨今ですが、まわりに対してより寛容で、他者を幸せにする利他的な社会を目指したいと思う人は少なくないものと信じます。久山療育園も利用者の方々の身の安全と健康を守るべく、職員一同が心を一つにして、より良い医療・療育をこの年度も貫徹していきたいと思えます。

理念と展望

2022年度

法人・施設の運営と方向性

理事長 宮崎 信義

今年度は2022年1月から新型コロナウイルス感染症の第六波に襲われ、昨年7～8月の第五波を上回るオミクロン株の強い感染力で世界を席巻致しました。「愛の手を」第207号が発刊される4月20日には、感染が終息もしくはその兆しが見えることを祈っています。「愛の手を」では年度初めの2月の春号で「法人・施設運営と方向性」について述べさせて頂いています。大変厳しい新型コロナウイルス感染症のパンデミックに加えて、4月24日にはロシアによるウクライナへの軍事侵攻があり世界平和も脅かされています。聖書を基盤とする久山療育園では、神様の愛と救いのご計画が進めておられることに希望を抱いています。使徒パウロはローマ帝国の激しい迫害の中にあつても、「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはない。あなたがたは神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、

画の在り方に明確な予測が得られない中で、抽象的なテーマとならざるを得ませんでした。以下に具体的な2022年度の事業計画を提言いたします。

2022年度の事業計画

①2021年度からの課題と2022年度に向けての事業計画と展望…2009年に策定した「在宅支援プロジェクト」の継続から次の課題と将来展望が挙げられます。

・西日本施設協議会2023担当施設としての役割…実行委員会(園内・施設合同)を中心に、献金や支援金等の収入は将来計画(重症児者医療福祉の向上等)に優先的に活用する。

②次世代を担うに足る人材活用と育成…法人の役割として先ず創立理念の継承と施設運営を支える機能を堅持し更に明確にしていくこと。センター及び各部署の人材活用と育成…管理職を担える中堅層の育成と新任職員教育。

③「在宅支援プロジェクト」の継続。第1段階…2009年度～2015年度(施設全面改築から在宅支援センターの開設)。第2段階…2016年度～2020年度(在宅支援センターの拡充と新たな事業展

開)検証…在宅支援棟関連事業も「重症者ホームひさやま」の運営も途上にあることの認識を確かにしていくこと。ホームから起案されている「日中サービス支援型」への移行計画は2021年10月に実現の運びとなり、一層の事業の充実に努めています。第3段階…2021年度～2025年度(重症児者の家族と共なるコミュニティ形成の可能性)計画。経営努力と支援者献金の蓄積の結果である(社会福祉充実残額)の活用。久山療育園重症児者医療療育センターを核とした福祉計画。「重症者ホーム」に続く「要介護家族ホーム」計画。センター部分の借地の取得に向けて「久原財産区管理会」と交渉継続中です。更に次の将来計画として、「重症児者の家族と共なるコミュニティ」「福利厚生」「地域福祉」の基盤となる隣接し近隣の土地取得。

BCP(事業継続計画)の策定、新型コロナウイルス感染症対策と災害対策

BCP(事業継続計画)は、2024年4月までの策定が義務付けられています。現時点での骨子は「新型コロナウイルス感染症対策」と「防災(大地震等)」となります。計画を実効

性のあるものとして、新型コロナウイルス感染症対策を細密にし、大地震に対する防災実施計画(防災設備、避難経路・避難所)を綿密に策定すべく「コアミーティング」(核となるメンバーによる骨子の作成と組織化)が進められています。計画の根幹は収支の均衡にあります。その基礎が堅持されてこそ、重症心身障害児(者)支援及び職員処遇や雇用の維持、更には将来計画も策定出来ます。センター長が「志は高く、経費は安く」と指摘されているように、「重症心身障害児(者)と共に」、またミットレーベン・ネットワークやボランティア、地域との協働、更には働き易く働き甲斐のある職場環境の整備と人材育成、最高のサービスは「人材」です」に努めて参ります。

2023年の西日本施設協議会 共同開催実行委員会

2021年9月に平松公三郎西日本協議会会長から、2023年度の西日本重症心身障害施設協議会の担当施設となることを依頼されました。久山療育園内の協議を経て、これまでも福岡県では複数の重症心身障害施設による共同開催を基調としてきまし

たので、久山療育園が基幹施設を担いつつ、北九州市立総合療育センター足立園(北九州市)、柳川療育センター(柳川市)、障がい児者医療生活支援ホーム「虹の家」(福岡市)に合同担当施設をお願いして快諾して頂きました。

合同実行委員会及び施設内実行委員会により綿密化して行きますが、第一候補として、会場は九州大学百年記念講堂(大ホール・中ホール、事務局室)、日時は2023年(令和5年)11月16・17日(木・金)が起案され、会場はほぼ確保されています。福岡市開催案は、県の中央及び宿泊・交通の利便性から立案されました。

おわりに

原稿を書きながら、2022年がどのような年になるのか、不安と期待が入り交ざった思いで稿を書き進めました。ともあれ、私どもは創立の理念に従って「重症心身障害児医療福祉」事業を進めて行くことに忠実でありたいと願っています。読者の皆様の変わりないご支援を感謝しつつ、皆様の健康と幸いをお祈り致します。

病氣だとからだから人の 第11回

よく眠れますか？

センター長／理事 岩 永 知 秋

■睡眠って不思議ですよ

今回は睡眠の話です。1日24時間のうち三分の一近くを人間は寝て過ごしています。人生全体に直してもやはり同じくらいの割合でしょう。眠ることによって一日の疲れをとっているのは実感できませんが、何となく無駄な時間でもあるような気がしませんか。

眠る必要がなければその間自分の好きなことをして過ごすこともできます。というわけでもないのですが、日本人の睡眠時間は年々短くなっているそうです。2021年の報告では日本人の平均睡眠時間は7時間22分だそうです。

OECD(経済協力開発機構)諸国33か国の平均が8時間27分と計算されており、それに比べて1時間以上も短いことになります。世界の中で断トツの短時間睡眠国です。米国の8時間51分、中国9時間2分と聞くとちょっと信じられないような数値ですね。

眠らない動物っているのでしょうか。イルカやクジラ、カモメなどは大脳の左半球と右半球とがわりばんこに眠りにつくそう、半球睡眠と呼ばれます。片方の脳で泳ぎ

続け、飛び続けることができます。日2〜4時間立ったままでも眠り、ごく短い時間だけ横になって眠ります(この睡眠はレム睡眠だそうです)。このように睡眠の様式にはいろいろありますが、哺乳類や魚類などの脊椎動物は例外なく睡眠をとります。

■なぜ人間は睡眠をとるのでしょうか？

睡眠は記憶の定着に大きな役割があります。短期的な記憶は脳の海馬と呼ばれる記憶の司令塔に一時的に保存されますが、これが長期的に記憶として保存されるのは大脳皮質です。これにより、学んだことは睡眠によって脳に整理され、定着します。したがって記憶力を保つためにはよく睡眠をとることが重要です。

また、認知症の一つであるアルツハイマー病をお聞きになったことがあるでしょうか。この病氣は脳の中で「アミロイドβ」という老廃物が蓄積することにより生じます。進行すると神経細胞が死んでしまい、脳は萎縮します。健康な人ではこの老廃物は、脳の中

で作られる脳脊髄液という液体で洗い流されますが、睡眠中にこの流れが良くなるのでアミロイドβの除去が進みます。ですから、睡眠不足はこの除去がうまく進まず、脳の病氣につながっていく危険があります。

■睡眠のサイクル

睡眠には「レム睡眠」と「ノンレム睡眠」の2つがあることを存じでしょうか。眠りはまず1時間程度のノンレム睡眠から始まり、そのあとレム睡眠という浅い睡眠に切り替わります。この2つの睡眠の組み合わせが睡眠サイクルと呼ばれるもので、1サイクルが90分程度、1回の睡眠中に4〜6回繰り返されます。レム睡眠は「夢を見る睡眠」として有名ですが、空を飛ぶなどの奇妙な夢、あるいは感情を伴う夢を見ることがあります。ちなみに「レム」とは睡眠中に眼球が小さく動き現象のこと、レム睡眠中の脳波は目が覚めているときの脳波に近い状態であることが確認されます。つまり、この時の脳は部分的に活発に活動しているのです。脊椎動物の中でレム睡眠があるのは、主に哺乳類と鳥類だとされます。さらに、レム睡眠とノンレム睡眠は、それぞれ異なるメカニズムで記憶の定着に関係しているといわれています。

■快眠するには？

人間だれしも快眠したいものです。ノンレム睡眠は3段階に分かれ、最も深い睡眠がステージ3の睡眠とされます。ステージ3は脳とからだを十分に休息させる役割があり、特に最初の睡眠サイクルに多く含まれます。したがって、睡眠最初のノンレム睡眠をきちんととることが快眠の絶対条件となります。

快眠のための環境には3つの条件が重要となります。暗さ、静けさ、室温の3つです。暗さ、静けさはそれぞれ睡眠を妨害する光と音です。夜遅い時間に強い光を浴びると体内時計が巻き戻されるので、電気スタンドなどの照明はもちろん、スマホなどの明るい光は眠りにつくのを妨げます。3つ目の温度ですが、人間の深部体温は皮膚体温より3～5度ほど高く、夜9時くらいをピークとして下がり始めます。そして眠り始めの頃にさながら下がり、睡眠中最も低くなります。反対に皮膚体温は入眠する頃から徐々に上昇し、手や足が温かくなり熱が外に放出されます。このからだからの放熱が、眠りにつくための重要条件ですから、就寝直前に熱いふろに入ると放熱が妨げられ、寝つきが悪くなってしまうです。また、入眠を良くしようと就寝直前にお酒

を飲む(ナイトキャップと呼ばれる)と、睡眠のリズムが狂ってしまい、かえって途中で目が覚めたり、寝覚めが悪くなってしまうです。

■不眠は困りますね。

寝不足、いわゆる不眠で悩む人は多いですね。その中でただの不眠不足にとどまらず、慢性的に睡眠不足の人は、肥満や高血圧、糖尿病、認知症などのリスクが高まります。例えば肥満を取り上げてみましょう。睡眠時間が短い人ほど太っている傾向があることが、大規模調査から明らかになっています。大人では7時間睡眠の人より6時間睡眠の人のほうが、体重で1kg重いことが報告されています。またこどもでは毎日10時間以上眠る子に比べて、8時間以下しか眠らない子は、肥満の割合が3倍近くなるとの報告もあります。睡眠不足になると食欲を増やすグレリンなどのホルモンが増加し、食欲をおさえるレプチンなどのホルモンが減るため、食べる量が増えると考えられています。また、睡眠不足では昼間の眠気があり倦怠感もあるため、運動不足になることも肥満を助長します。一方で長く眠りすぎる人も慢性的不眠の人と同様、死亡率が高くなることが報告されているので、これはこれで注意が必要です。

ところで、1日に5時間以下くらいしか眠らないで大丈夫な人を「ショートスリーパー」と言います。きわめてまれなことで、数百人に1人以下の頻度です。皇帝ナポレオンは1日に4時間しか眠らなかったと伝えられますが、実は日中よく居眠りをしていたそうですよ。

■年をとると眠れなくなる！

私もそうですが、年をとると若い頃に比べて、睡眠の間も睡眠の質も悪くなります。これにはいくつか原因があります。体内時計は年をとるとだんだん短くなるため、早寝早起きになります。またメラトニンという、眠りを促すホルモンの出が悪くなるため、深い睡眠の時間が短くなり途中で目が覚めたり、昼間に眠気が出やすくなります。もちろん、加齢により基礎代謝や活動量が低下することも睡眠を妨げます。したがって、年をとると眠れなくなるのは生理的な現象であり、病的なものではありません。高齢者それぞれで個人差があるでしょうが、6時間程度眠れたらよいとする人もいます。

■睡眠中に息が止まる！

「睡眠時無呼吸症候群」はご存じでしょうか。少し前になりましたが、米国スリーマイル島での原子力発電所事故など、

この病気による睡眠障害と眠気による事故が時々報道されることがあります。睡眠中に大きないびきをかき、ときどき10秒以上呼吸が止まるようであれば、この病気かもしれません。睡眠中に空気の通り道である気道がふさがれるため、いびきと呼吸停止が起こるのです。呼吸が止まってしばらくすると脳が目覚め、呼吸は再開しますが、このことを夜間に何度も繰り返します。太っている人は、舌やのどの奥の脂肪などの組織が睡眠中に緊張を失い、のどをふさいでしまうのがその一因です。肥満の少ない日本人では、顎が小さい骨格の人にも起こりやすいとされます。呼吸が止まるために死ぬことはないのですが、夜に何度も脳が目覚めることを繰り返すと、高血圧や糖尿病などにかかりやすくなります。また昼間の眠気から、交通事故なども起こしやすくなります。治療としてはダイエットなどで減量に励むとともに、器械からマスクで空気を送り込み、気道がふさがらないように保つ治療があります。

■冬眠の不思議

子供のころから私は、動物の冬眠が不思議でなりません。どうして食べ物も水分も取らず何十日も眠って過ごせるのでしょうか？哺乳類で

冬眠する動物は、クマを除けば小型動物ばかりです。リス、コウモリなど小さな哺乳類はからだが小さいほど冷えやすく、寒さの厳しい冬にはより多くのエネルギーが必要となる半面、冬は食料が少なくなります。これを避けるために冬眠するものと考えられますが、冬眠中はわずかに数℃の低体温と1分間に数回程度の呼吸で体内の代謝を落としています。最近の研究では冬眠する動物は寒い地域だけでなく、熱帯・亜熱帯に棲む哺乳類の中にもいることがわかってきたそうです。そして、冬眠する動物は恒温動物から個別に進化した動物で、生物の系統樹とはかならずしも関係がないと考えられるようになっています。やはり不思議ですね。

参考文献

別冊Newton…睡眠の教科書、2021。



2022年度予算

2022年3月10日 2021年度第6回理事会にて2022年度予算が承認されました。
予算の概要については、以下の通りとなります。

2022年度 資金収支予算書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日 単位：千円

科 目 名	2022年度 予算額 (A)	2021年度 予算額 (B)	増減 (A - B)
《事業活動による収支》			
(収入の部)			
児童福祉事業収入	3,734	3,611	123
障害福祉サービス等事業収入	521,669	486,454	35,215
医療事業収入	821,650	812,190	9,460
経常経費寄附金収入	18,380	19,030	△ 650
受取利息配当金収入	1,006	1,010	△ 4
その他の収入	5,348	6,339	△ 991
事業活動収入計①	1,371,787	1,328,634	43,153
(支出の部)			
人件費	1,070,000	1,050,129	19,871
事業費支出	170,086	161,465	8,621
事務費支出	108,701	106,040	2,661
事業活動支出計②	1,348,787	1,317,634	31,153
事業活動資金収支差額③=①-②	23,000	11,000	12,000
《施設整備等による収支》			
(収入の部)			
施設整備補助金収入	0	0	0
施設整備等収入計④	0	0	0
(支出の部)			
固定資産取得支出	212,000	211,000	1,000
施設整備等支出計⑤	212,000	211,000	1,000
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	△ 212,000	△ 211,000	△ 1,000
《その他の活動による収支》			
(収入の部)			
積立資産取崩収入	200,000	200,000	0
サービス区分間繰入金収入	146,598	161,160	△ 14,562
その他の活動収入計⑦	346,598	361,160	△ 14,562
(支出の部)			
サービス区分間繰入金支出	146,598	161,160	△ 14,562
その他の活動支出計⑧	146,598	161,160	△ 14,562
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	200,000	200,000	0
予備費支出⑩	0	0	0
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	11,000	0	11,000
前期末支払資金残高⑫	430,813	430,813	0
当期末支払資金残高⑬=⑪+⑫	441,813	430,813	11,000

1.前提条件

2017年度より開始された社会福祉充実計画遂行期間(5年)が終了して最初の年度となる。収支均等型予算から脱却し、事業活動における段階的な黒字化を目指すことができる状況ではあるが、新型コロナウイルス感染症の流行拡大は続いており昨年度に引き続き、短期入所の稼働制限や通所を始めとする在宅利用者の事業においても影響を受け続けることを想定した。またコロナの影響を受けて延期した勤怠管理システム(タイムカード)の導入を再度予算化し、職員への適正な業務管理及び福利厚生増進を図る。

2.基本方針

社会福祉法改正に伴って「社会福祉充実残額」発生により、その主な使途として計画していた既存建物部分の土地取得に関しても引き続き協議、検討していく前提で今年度においても予算化を進め、収支計画を策定した。

3. 具体的内容

2022年度事業計画の策定にあたっての主な項目については次のとおりである。

(1) 収入部門 (単位：千円)

43,000増。(対前年度計画比約103%)

①障害福祉サービス等事業収入 35,200増。

重症者ホーム21,500増：日中サービス支援型グループホームへ移行し通年運用
療養介護13,500増：88→89名定員に変更後通年運用
短期入所2,500増：検査機器を活用し稼働率増
児童発達・放課後デイ3,000減：コロナ感染下では活動を制限

②医療事業収入 9,500増。

入院診療費収入2,000増：定員変更他、
外来診療費収入7,500増：感染上の運用見直し

(2) 支出部門 (単位：千円)

31,000増。(対前年度計画比102%)

①人件費 20,000増。

前年度決算見込 1,065,000千円 +5,000千円増
年間賞与4.15ヶ月で計上。(昨年実績△0.05)

②事業費 8,500増。

給食費1,000増：納入単価値上げによる
医薬品費4,000増：前年度実績より
保健衛生費1,500増：エプロン・手袋などの単価上昇
水道光熱費2,000増：電気基本料金、ガス単価上昇による

③事務費 2,500増。

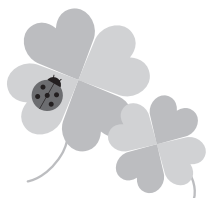
業務委託費4,000増：人件費・原材料費等の高騰に伴う契約単価上昇など
修繕費1,500減：前年度は託児所の改修費用を計上(3,500)

(3) 事業活動資金収支差額

12,000増。(対前年度計画比209%)

(4) 固定資産支出

勤怠システム5,000・温冷配膳車3,300・医療機器他3,700
社会福祉充実残額分200,000



2021年度第45回療育体験発表会報告

(3月3日 地域交流ホール)

研修研究委員会委員長／ひかり棟師長 藤島信也

今年も、1年間、実施した研究を発表する時期になりました。前年度より2題多い、7演題の発表でした。利用者を対象とした研究だけでなく、職員教育や利用者家族へのアンケート、災害時の食事など幅広い内容でした。また今年度は医師の研究発表への協力を得て、1題、発表して頂きました。ありがとうございました。質疑応答は沈黙する事がなかった事から、参加者それぞれが興味を持てる内容だったと考えています。講評、総評をととても細かく、丁寧にして頂いた先生方に、この場をお借りして感謝申し上げます。

修会を実施した。研修の前後でホーム職員の専門職としての意識や行動がどう変化したかを検証した。研修終了後、自己評価表で「できている」と評価した職員と、「半分程度しかできていない」(課題がある)と評価した職員とで評価が分かれた。「利用者をつけない対応」、「情報提供」、「秘密保持」について職員の評価が高かった。「言葉遣い」、「個人の尊重」、「情報共有」、「快適環境」、「ニーズへの対応」、「配慮」、「職員として」は評価が低かった。この取り組みは継続的に実施する必要がある。職員が常に権利擁護の意識を持って職務にあたる風通しの良い職場風土づくりにつなげていきたい。

演題1「福祉施設職員としての自己吟味」

重症者ホーム研究班

○山口真一ほか

ホーム職員を対象に「入居者中心」の理念を実現するための学習や自己の介護の現状を振り返る機会として年間5回の研

演題2「コロナ禍で実習経験が少ない新卒者のスムーズな職場への導入」

看護教育研究班

○笹倉典子ほか

コロナ感染予防の影響で看護実習の経験が乏しい新卒看護師(以後、新卒者)とその新卒

者を受け入れる病棟看護師側双方に様々な不安があると想定し、従来のオリエンテーションに加えて、新たな取り組みを実施した。3日間の看護技術確認研修で看護技術7項目の講義と演習4項目を実施した。新卒者は、終了後のアンケートで「理解しやすかった」「役立ちそうだ」と答えた。また、病棟に出る前に知識・技術の確認ができて良かった、実際の器材などを見て緊張度が下がったとの意見もあった。看護技術確認研修終了後、5日間のシャドウイングを行なった。新卒者全員がシャドウイングは有意義であったと答え、今後の継続を希望した。今回の取り組みは妥当であり、今後も活用できる内容である。これからも改善を図りつつ、コロナ禍に限らず新卒者が、重症心身障害児者を対象とした看護師として着実な1歩を踏み出せることを目指して努力する。

演題3「災害時における食事提供方法の検討」

給食サービス研究班

○吉田規子

災害発生時の食事提供は利用者の生命維持と健康保持に直結する。そのため、継続して

提供できるよう平時からの備えと災害発生時の柔軟な対応が重要である。今回は災害発生直後の食の安全な提供を目指し、備蓄食の選定やその保存・提供方法の検討、及び被災状況把握のための帳票作成を行った。備蓄食の使用期限や保存場所を記載した備蓄食の一覧で管理していたが、それ以外の物品と混在した状態で保管されていたため整理・収納し、配置場所を確保した。ライフラインが途絶えた場合を考慮し第1食目・第2食目までは調理せずそのまま提供でき、且つ持ち運びに便利なものを、またどの食形態でもできるだけ共通で提供できるものを選定し献立を作成した。1回分の食事を誰が見ても分かるように写真で表示した。保管場所でも1食の組み合わせを色で視覚的に分かりやすく示し、ディスプレイ容器などの災害時使用品と共に取り出しやすく配列した。被災状況把握のため、厨房内設備機器の使用の可否をチェックする帳票を作成した。今後も災害に備え、入所者の備蓄食保管場所を全職員が周知し運搬可能にしておく必要がある。また、どのような状況下でも迅速な食事提供ができるよう、今後も検討していくことが望ましい。

演題4「障がいのある人のきょうだいへのリハビリテーションに関するアンケート調査」

リハビリテーション研究班

○塩川祐佳ほか

保護者から、兄弟姉妹についての相談を受け、受け答えに難渋した例は多い。また、重症児者のきょうだいに焦点をあてた報告、リハビリに関連した報告は少ないのが現状である。そこで今回、アンケート調査を実施した。対象は当センターの通所・外来リハビリの利用者(以下、利用者)の20歳以上のきょうだいで、アンケート内容としては【I】基本的情報【II】リハビリについて【III】スタッフの対応・関わりについて【IV】その他、きょうだいとしての思いやエピソードの項目で全32設問とした。【I】では20代の回答が52%と一番多く、【II】リハビリの目的を知っている人は全体の70%であった。利用者がリハビリを受けてよかったかの質問には78%の人が「はい」と答えているが、変化を感じた人は30%だった。ついてきたときには「暇だった・楽しくなかった」などの回答が33%。【III】では「わからない」と

回答した人が半数以上であった。しかし、利用者本人への対応については76.5%の人が「満足している・まあ満足している」と答えた。【IV】では利用者へのコメントや周囲の人々・環境への感謝の言葉、今後についてなど様々な気持ちの記載があった。アンケート調査から、様々な思いを聞くことができた。今後専門的な目線での評価を行っていき、利用者の変化を言語化し家族に伝えることが重要だと再確認した。また、「親亡き後」を考えた回答もあり、今後社会的な支援も必要であることが考えられた。

演題5「経皮的内視鏡的胃瘻造設術」

診療部

○橋本治光

嚥下障害のある患者には、経管栄養が行われている。栄養の投与のため近年胃瘻造設患者が増加してきた。当センターにおいて2016年から2021年までに、胃瘻造設を行われた11名につき検討した。胃瘻患者は、5年間で倍増している。2016年2名・2017年3名・2018年2名・2019年3名・2021年1

名(2021年10月以降3名)。造設を行った病院は、飯塚病院1名・篠栗病院1名・福岡市民病院1名・九州大学病院7名であった。11名のうち、経鼻経管栄養からの移行が3名。経口摂取からの移行が8名であった。PEGを行う目的は栄養補給による栄養状態を改善し、経口摂取に戻ることであるが、今のところ経口摂取併用な可能症例は、4名(50%)である。『本人の人生にとっての最善を達成するという観点』に基づき、胃瘻が造設されてきた。経口摂取可能症例もあり、胃瘻造設は有効である医療行為と思われた。

演題6「ADL機能が低下した方への他動的な腸ねじり運動による便秘改善」

めぐみ棟介護研究班

○塩井貴文ほか

慢性的な便秘症状を有する方へ生活支援員でもできる便秘改善方法として腸ねじり運動(以下…コロコロ体操)を取り入れたところ、排便状況の改善が顕著にみられた。今回、以前よりADL機能が低下した2名(A・B氏)の利用者に対して、コロコロ体操を行うことで同様の効果が期待できるのではない

かと考え、取り組んだ。コロコロ体操を1日4セット8〜11月4ヶ月間のデータを前年度と比較した。A氏は体調不良の期間があったため実施回数が少なかった。自然排便の回数は月0〜2回増加しているが、食事や水分の影響もあったのではと考える。両氏とも以前は歩行することができ、一定の自動運動があったため、今回の他動的運動で腸運動が促せたと考える。運動機能が低下した方への他動的運動として、個人差はあるがコロコロ体操は有効である。コロコロ体操は、簡単に少しの時間でも誰でもが実施できることが最大の利点である。

演題7「下肢を温める事は良質な睡眠に有効か」

ひかり棟療育研究班

○村上貴紀ほか

当センターの入所者で下肢の血行不良と睡眠障害の両特徴を有する方に対し、下肢を温めることで良質な睡眠に有効ではないかと考え、良質な睡眠・睡眠時間の増加と位置付け研究する。2021年8月〜12月に3名(A・B・C氏)の男性で身体の変形・拘縮に伴う下肢の循環障害・血行不良がある方

を対象とした睡眠パターンの調査を行う。下肢をブランケットで包み保温、湯たんぽでブランケットを温め、下肢を包むという方法をとり体温、足背の温度、居室温度、湿度を測定した。夏場は下肢を温めた方が睡眠時間は多少減っていた。冬場に関しては、A氏は睡眠時間の減少がみられた。B氏は睡眠時間に変わりはなかった。C氏に関しては1時間程平均睡眠時間が増加し、平均入眠時間も早くなった。下肢を温めると睡眠時間は増加すると考えられるが、睡眠時間に変化のない・減少した結果は体動により十分な温め効果を得られなかったと考ええる。睡眠の深さを観察によって正確に判別することは難しい。環境設定を再度検証する必要がある。

を対象とした睡眠パターンの調査を行う。下肢をブランケットで包み保温、湯たんぽでブランケットを温め、下肢を包むという方法をとり体温、足背の温度、居室温度、湿度を測定した。夏場は下肢を温めた方が睡眠時間は多少減っていた。冬場に関しては、A氏は睡眠時間の減少がみられた。B氏は睡眠時間に変わりはなかった。C氏に関しては1時間程平均睡眠時間が増加し、平均入眠時間も早くなった。下肢を温めると睡眠時間は増加すると考えられる



45年のあしあと



看護部長

吉本法生

入来典 診療部長を偲ぶ

前々回の205号で元園長城崎先生の思い出を書いた後、こんなに早く入来先生が亡くなられた報告を書くことになるとは思っていませんでした。

入来先生は城崎先生と同じ昭和60年に久山に赴任されました。その後より利用者のことをお知りになるために部長回診が始まったような気がします。人当たりが良く皆が話しやすい先生でした。通園の家族の方とも気さくに話をされお母さまたちはとても頼りにされていたと思います。

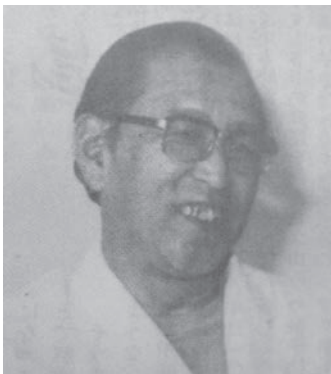
皆と遊ぶことも積極的にされていました。あの頃、久山で一時期テニスを趣味にするグループがあり先生も参加されていました。若宮スコーレや名島運動公園で汗を流しました。先生の還暦のお祝いに赤いベストを贈り、テニスを楽しんだ思い出があります。

飲み会も気軽に参加されて飲んだ後は必ずケーキとお茶が定番でした。自分の子供が熱性けいれんを起こしたとき、気が動転して先生に電話しました。その時先生は何もしなくていい、様子を見るだけでよいと言われましたが、その一言で安心出来ました。

久山を退職された後も、看護学校等で小児疾患や、小児保健の講義を行われていました。赤ちゃんの母乳栄養の必要性をいつも話されていました。



昨年、城崎先生を訪問した時にお会いしたのが最後になりました。元氣そうにされていたので、亡くなられたことがまだ信じられません。先生ゆっくりお休みください。

「社会とのつながりを
持つこと」

貧困・紛争・気候変動・感染症。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。そんな危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals・SDGs)」です。

昨年度から続くコロナ感染症の影響の為、外出サービスやボランティアの方々とのふれあい活動が出来ず、今年の活動目標をどうすべきか考えていました。

そこで、世間では「SDGs」が盛り上がりを見せていたので、これを活かした活動をすることに決めました。その「SDGs」の一環として、ペットボトルキャップを資源とし、ワクチンに換える活動があり取り組むことにしました。

普段ゴミとして捨てるものを資源として、人助けできるということ、支えられた人たちへの恩返しにも繋がるのではないかと思いました。

職員に協力を依頼して、施設内に回収ボックスを設置し、毎週末、利用者が回収するという活動を半年間取り組みました。貯まっていくキャップの量を見ながら、色の多さに目を丸くしたり、袋に入

れる音に笑う人、触ってみて感触を楽しむ人、それぞれ様々な感じ方で楽しく回収していききました。

集まったキャップの総重量は24kg!!

イオン九州様にクリスマスのお菓子を献品に来ていただいた際に直接手渡すことが出来ました。感謝します。

利用者も嬉しそうな表情をされ、とても満足そうです。

社会と繋がりを持つことで、生きる喜びや楽しみに繋がり、やってよかったと実感しています。

今後もコロナ禍で出来ることを楽しみながら取り組んでいきたいと思っています。

(めぐみ棟代表 大場奈緒子・めぐみ棟 介護福祉士 久芳千鶴)



めぐみ棟より

「めぐみ棟 開花宣言！」

少し暖かくなっただけと思ったら暑くなり、また肌寒い日に逆戻り。そんな春だか夏だか、もしくは冬なのか、と桜の見えるない日々がまだまだ続く中、めぐみ棟では早くも桜が咲きました。3月の誕生会のテーマは「めぐみ棟 開花宣言」。皆さんの力を合わせて桜の花を咲かせてみました。それぞれの役割は誕生者が順番にくじを引き、託していきます。種を植える係、水やりの係。魔法の言葉を唱えるとあつという間に芽が出て大盛り上がり。次に肥料係が植木鉢に肥料を撒くと、小さな木にまで成長しました。仕上げに皆さんで少しずつクシャクシャした花紙を、まだ真っ白なくす玉に貼り付けていきます。最後に誕生者が大きな桜の花になったくす玉を割って、無事に桜満開。めぐみ棟に「開花宣言」が響き渡りました！さあ、そろそろお散歩に行つて桜を見ながら気持ちの良い風に当たれるかな？とつてもお出掛けしたくなった、春の午後の活動でした。

(めぐみ棟 保育士 河野敦美)



「写真で一年を振り返ろう」

毎月取り組んできたコミュニケーションサークル。一年経ち今回のメンバーでの活動は最終回を迎えました。最後の回となる3月は、一年間の活動を写真で振り返り、お気に入りの写真を貼ってグループ毎にまとめました。季節を感じられる作品作り、粘土や泡で遊ぶ活動、メンバーと競い合つて大変盛り上がったゲーム。「あのゲームは難しかったね」、「この表情とても楽しそうだね」とスタンプも写真を見ながら思い出話に花が咲き、なかなか決めるのに時間はかかりました。近くを通り過ぎるスタンプも、「これがいんじゃない?」と助言したり、「何を作っている写真?」と尋ねたり、興味津々な様子。

病棟に貼り出しますので、またじっくりと見てください。

また今年度も新たなメンバーで楽しく活動を行っていきます。お楽しみに！

(めぐみ棟 保育士 山田梨愛)



通所で頑張っています

「通所 成人式!!」

2022年3月24日に成人式を行いました。コロナ感染対策のため予定よりも1か月遅い開催となりましたが、桜の花が咲き始める心地よいこの時期に皆さんと共に祝いすることができました。今年は4名の方が成人を迎えられました。

普段とは違った様子や服装に少し緊張した表情の皆さんでしたが、お祝いに集まった方々の「綺麗だね!」「かわいいね!」の言葉にいつもの笑顔が戻り暖かい表情で式に参加してもらえました。式の中では、おひとりおひとりの二十歳までの歩みをご紹介します。お母さまからお話を聞きスライドにまとめたもので、毎回ご家族やご両親の思いがたくさん詰まっております。毎回ご家族やご両親の思いがたくさん詰まっております。毎年成人式に参加させてもらい、たくさんさんのご両親の愛情を感じるたびに、1人1人がたくさんさんの愛情を受けて今この時を迎えていること、そして今生きていることは当たり前ではなく奇跡のようなことで、私たちは多くの愛情とやさしさに支えられて今を生きていることに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

そして、ご両親の愛情に触れ改めて皆さんとの関わりを大切にしたいと感じました。皆様の毎日がしあわせいっぱいでありますように、ご成人おめでとうございます。

(通所 保育士 桑原リサ)



ひかり棟より

「ひな祭り」

3月2日(水) 1日早いひな祭り行事でした。今回のひな祭りは、「みんなで作る雛人形」ということで、ペットボトルにデコレーションボールを一つずつ入れて雛人形を作りました。各ユニットで、どの人形を作るのかは、公平にじゃんけんで決めました。みんなでの色にする?この色がいい!!このキラキラしたボールがいい!などと話しながらボールを選び丁寧にに入れてくれました。

ペットボトルを手に持ち、いろいろな角度から確認する利用者さんや、真剣にボールを入れる利用者さん、雛人形をちよつと振ってみる利用者さんなど、それぞれ楽しみながら作ってくれました。こうして、とても可愛い素敵な雛人形が出来上がりました。出来上がった雛人形は病棟の出入口に飾られ春を呼んでくれています。

(ひかり棟 保育士 島津静香)



「★コミュニケーションサークル活動の1年間★」

昨年度のコミュニケーションサークルでは様々な活動を行いました。

春はお外で春散歩。夏もお外で水遊び!秋は、ミノムシの形をした不思議なおもちゃを使って、ボールとボールを飛ばしましたね。

冬は、クリスマスツリーの飾りつけを行いました!みんなでも遊びましたね!

1年を通してたくさんの“発見”がありました。じっくりゆっくり考えていた飾りつけ。ボール飛ばしは大胆に!活動中はお隣さんのことが気になって物を渡し合ったり、意見の伝え合いも行いました。

みなさんのキラキラな笑顔や頑張っている真剣な顔。注目されて少し恥ずかしい照れ笑いなど、たくさんの表情に出会えたサークル活動でした。

この1年間、楽しく活動した日々を忘れずに今年度もたくさん笑って過ごしましょうね。

(ひかり棟 保育士 山下莉奈)



2022年度 入所行事予定

4月	15日(金)	イースター	9月	2日(金)	誕生会	12月	14日(水)	入所クリスマス
	22日(金)	誕生会		9日(金)	久山なないろの会	1月	27日(金)	誕生会
5月	13日(金)	誕生会		23日(祝・金)	開園祭	2月	3日(金)	節分
6月	24日(金)	誕生会	10月	7日(金)	誕生会		17日(金)	誕生会
7月	6・7日(水・木)	七夕祭り		26・27日(水・木)	秋のイベント	3月	3日(金)	ひな祭り
	22日(金)	誕生会	11月	11日(金)	誕生会		10日(金)	誕生会
8月	5日(金)	誕生会	12月	2日(金)	誕生会			

☆余暇活動: 喫茶活動 など

※コロナウイルス感染状況に応じ、日程や内容を変更する場合があります。

重症者ホームひさやまより

「チーズフォンデュ・軽食パーティー」

季節は巡り巡って、冬から春へ。新年度となり、気持ち新たに過ごすごの方も多くいらっしゃると思います。去る2月12日、世間はバレンタインムードで賑わいを見せる中、重症者ホームひさやまでは、チーズフォンデュ・軽食パーティーが行われました。チーズフォンデュというと、野菜やパン、ベーコン等を付けて食べるものをイメージする方が多いかもしれませんが、今回はスナック菓子にチーズを付けて食べる趣向で行いました。食べたことがある方も多いのではないのでしょうか、駄菓子のうまい棒を数種類用意しました。誰が何味を食べるかを決めるとき、僕は照り焼きバーガー味がいい!!

と積極的に選ばれる利用者さんもおられましたよ。チーズ味や、のりのお味、コーンポタージュ味など、フレーバーを多く用意していたのですが、選ぶ際は勿論早い者順です、争奪戦になりました(笑)。ポテトチップスやブリッツ、かつばえびせん、クラッカーなど、様々なスナック菓子に、とろとろに溶けたチーズを付けましたよ。利用者さんがおいしそうに召し上がる様子を見て、スタッフ一同も笑顔がこぼれました。にぎやかで笑い声が絶えない、ほんの少しだけ特別な午後のひと時を、過ごすことが出来ました。

(重症者ホーム 療育員 福島有紀)



職員の異動 (2022 / 1 / 1 ~ 5 / 1)

【採用】	
1 / 1 付	樋口 幸美(看護師)
2 / 1 付	齊藤 千尋(療育員)
3 / 8 付	杉田 杏奈(管理栄養士)
4 / 1 付	赤塚 照恵(保育補助)
▽田原 美(看護師)	
▽時松 将廣(看護師)	
▽西尾 幸恵(看護師)	
▽熊谷健太郎(看護師)	
▽安松 宏祐(看護師)	
▽片岡 美和子(看護師)	
▽竹内 寛恵(介護福祉士)	
▽松本ひらり(介護福祉士)	
▽片渕 竜一(事務員)	
5 / 1 付	岸本真由美(看護師)
【退職】	
1 / 31 付	樋口 克己(療育員)
▽喜多 純子(保育補助)	
3 / 31 付	小脇 勇(事務担当課長)
▽知念 勇一(事務員)	
▽加藤 依織(看護師)	
▽中原絵美利(看護師)	
▽中村 遥一(看護師)	
▽町田志磨子(看護師)	
▽浅海 亜美(介護福祉士)	
▽矢山 康子(療育員)	

メモ帳

【1月】▽14、16日 認定看護師研修▽21日 令和3年度全国重症心身障害児者施設職員研修会施設管理研究コース▽27日 中途入職員オリエンテーション▽28日 誕生会

【2月】▽1日 2021年度 第5回理事会(みなし決議)▽11日、13日 認定看護師研修▽25日 誕生会▽26日 相談支援ネットワークふくおか研修会

【3月】▽2日 ひなまつり▽3日 療育体験研究発表会▽4日 福岡特別支援学校 高等部卒業式▽10日 2021年度 第6回理事会▽11日 福岡特別支援学校 中学部 卒業式▽11日、12日 認定看護師研修▽14日 福岡協事業団理事会(Zoom会議)▽16日 保護者役員会▽17日 学校修了式(めぐみ棟)▽18日 誕生会・西日本施設協議会・2023年度担当施設合同第2回実行委員会▽24日 通所 成人式▽25日 2021年度 第3回評議員会(みなし決議)



新入職員の紹介

10名の新しい仲間をお迎えしました。ご紹介いたします。



- ①西尾 幸恵(看護師 めぐみ棟)
②利用者さんに寄り添った看護を提供していただけるよう頑張ります。
③長所…よく笑う。
短所…じつとしておくのが苦手。
④利用者さん、ご家族が居心地が良く感じれるような関係を築きたい。



- ①時松 将廣(看護師 めぐみ棟)
②利用者さんに寄り添い、その人らしく過ごせるように頑張りたいと思います。
③長所…明るく元気です。
短所…緊張しいです。
④利用者さんやご家族の意思を尊重し、信頼関係を築きながら毎日の生活の一部分だけでも共に歩んでいきたいです！



- ①田原 美(看護師 めぐみ棟)
②ひとりひとりと向き合い寄り添った関わりをしていきたいです。
③長所…素直。
短所…緊張しやすい。
④安心を与えられるよう笑顔を意識して関わりたいです。

- ①名前・職名・部門配置
②久山療育園で働くことについての抱負
③長所・短所
④利用者の方や家族とどのように関わりたいですか？



- ①熊谷 健太郎(看護師 ひかり棟)
②まだまだ未熟者ですが一生懸命がんばっていきます。
③長所…いろんな事に好奇心があり、挑戦していきます。
短所…緊張しやすいところです。
④信頼される看護師になりたいです。



- ①安松 宏祐(看護師 ひかり棟)
②利用者様の笑顔を一人でも多く引き出せるように関わりを行いたいです。
③長所…何事にも一生懸命なところ。
短所…少してんばるところ。
④利用者様やご家族に信頼していただけるように深く関わり、個人の意思を尊重していききたいと思います。



- ①竹内 寛恵(介護福祉士 ひかり棟)
②何事にも一生懸命取り組んで沢山の事を学び貢献したいです。
③長所…ポジティブ。
短所…せっかち。
④利用者さんとご家族様が穏やかに過ごせるよう要望をしっかり聴き、寄り添った支援をしていきたいです。



- ①松本 ひらり(介護福祉士 ひかり棟)
②利用者の方の気持ちに寄り添う介護を行っていききたいです。
③長所…想像力豊か。
短所…あわてやすく、忘れっぽい。
④相手の気持ちや考えを受け止め、尊重していききたいです。



- ①岸本 真由美(看護師 めぐみ棟)
②安全、安心を基本に一人一人に寄り添い適切なケア・サポートを行える様になりたいです。
③長所…明るく楽しい雰囲気づくりが出来る方です。
短所…早とちり、勘違いしやすい事。
④できるだけコミュニケーションを取り何でも話しやすい看護師として関わられる様になりたい。そして、共に問題解決、生活向上に取り組んでいきたい。(5/1付入職)



- ①杉田 杏奈(管理栄養士 栄養課)
②利用者様のQOLの向上のため、栄養面からサポートします。
③長所…チャレンジ精神があります。
短所…熱中しすぎることあります。
④「共に生きる」ために、共に考えていきたいです。



- ①片渕 竜一(事務員 事務部)
②与えられた仕事をこなして多くの事を学んでいきます。
③長所…パソコン、周辺機器に強いです。
短所…朝が苦手です。
④利用者さんや家族が悩んでいることを一緒に解決したい。



ご協力ありがとうございました

(2021年12月1日〜2022年2月28日) 敬称略

【法人】

一般献金

NPO 法人障がい者の自立を考える会
愛の園保育園・こひつじ保育園、青森バプテスト教会女性会、青山学院初等部、青山学院中等部、あかし幼稚園、安部聖子、阿部直子、阿部初美、有田和子、飯田節子、伊集院幼稚園、市川大野キリスト教会、市川八幡キリスト教会、市川幼稚園ひかりの家学園、糸島聖書集会、宇美キリスト教会、梅崎正広、梅田淳子、鷗友学園女子中学高等学校奉仕委員会、大久保バプテスト教会、大鶴敬治、大附智恵子、大牟田フレンドシップキリスト教会、岡田安弘、折尾愛真高等学校看護専攻科学友会、甲斐丈士、(学)西南女学院、(学)大塚平安学園、(学)大牟田バプテスト学園、(学)西南学院、(学)西南学院西南学院高等学校母の会、(学)捜真学院、(学)東京第一バプテスト学園、(学)弥生幼稚園、(学)三育学院東京三育小学校、(株)一粒社ヴォーリス建築事務所、鎌倉ツヤ子、関西学院宗教活動委員会、企救バプテスト教会、北九州キリスト教会、北白川いずみ保育園、木戸美沙、木下由紀子、栗ヶ沢バプテスト教会、恵泉女学園中学・高等学校宗教部、古池節子、五斗美代子、後藤敏雄、相模中央キリスト教会、品川バプテスト教会、柴田公文、下山由美枝、白垣充子、神愛幼稚園、周船寺第二幼稚園、周船寺幼稚園、西南学院キリスト教活動支援課、西南学院舞鶴幼稚園、西南学院高等学校、西南学院高等学校母の会、西南学院中学校、西南学院中学校母の会、西南学院バプテスト教会、西南幼稚園、西南幼稚園母の会、聖路加国際病院礼拝堂、仙台バプテスト教会幼稚園、ソフィア幼稚園、大分キリスト教会、高橋香代子、高松太田キリスト教会、田隈バプテスト教会、玉川勝巳、筑紫野南

キリスト教会、筑波バプテスト教会、堤克彦、内藤慶治、長尾彩香、中垣路津子、中島乃婦子、仲田京子、南光台CHバプテスト連盟、日本キリスト教会福岡城南教会、日本キリスト教団東郷教会こどもの教会、日本キリスト教団長崎銀屋町教会、日本基督教団東村山教会、日本基督教団福岡中部教会、日本基督教団門司大里教会、日本基督教団八幡西教会、日本バプテスト伊集院キリスト教会、日本バプテスト大阪教会、日本バプテストシオン山教会、日本バプテスト鹿児島基督教会、日本バプテスト女性連合、日本バプテスト仙台北基督教会、日本バプテスト東熊本キリスト教会、日本バプテスト広島西キリスト教会、日本バプテスト連盟壱岐キリスト教会、日本バプテスト連盟早キリスト教会、日本バプテスト連盟瑞穂キリスト教会、日本バプテスト連盟宮崎キリスト教会、日本バプテスト連盟霊水キリスト教会、波多野陽子、花野井バプテスト教会、バプテスト東福岡教会、東福岡幼稚園、光の子幼稚園、久山療育園保護者会、久山療育園手作品売上、松原こひつじ幼稚園、平尾バプテスト教会、福岡城西キリスト教会、福岡女学院幼稚園、福岡女学院看護大学宗教部、福岡女学院中学校・高等学校、福岡西部バプテスト教会、福岡地方連合女性会、福岡中部教会婦人会、福岡友の会、福岡南キリスト伝道所、福田靖、藤永嘉孝、豊前キリスト教会、二日市栄光キリスト教会、本田光、牧角雅子、真鍋恵美、三島バプテスト教会、水戸バプテスト教会女性会、宮内千鶴子、茗荷谷キリスト教会、村津俊博、明治学院高等学校、銘茶かおり園、めぐみのその幼児園、矢野和美、八幡バプテスト教会、山形南部教会婦人会、山口正夫、山崎工、百合丘めぐみ幼稚園、養巴幼稚園、稚内ひかり幼稚園・きらきら保育園

(以上2, 882, 666円)

【重症者ホーム】

一般献金

自動販売機売上献金、井手伸昌、神代曉宏、重症者ホームひさやま家族会、久山療育園来久の会、久山療育園献金箱

(以上368, 883円)

【施設】

一般献金

KAJI HARA JYUN、井手加奈子、井上安子、今治バプテスト教会、入山秀美、ウェスレアン・ホーリネス教団福岡エルシオン教会、大塚利一、大原信幸、緒方隆司、岡本好枝、(学)聖泉学園認定こども園、(学)汀幼稚園、金井敏男、川崎バプテスト教会女性会、菊池孝子、菊池直樹、金長壽、草苑幼稚園、栗山高子、古賀譲二、後藤香織、在日大韓基督教会福岡中央教会、堺太郎、(示)福山天使教会、(示)日本基督教団福岡城東橋教会、新藤賢恵・佐知子、清星幼稚園、高瀬孝介、立石有梨佳、田中節子・由美、調眞琴、日本キリスト教会房総君津教会日曜学校、橋本治光、伴武司、光の丘幼稚園、平尾バプテスト教会子供クリスマス、藤城淳子、船附啓二、又野洋子、松尾国利、松尾貴光、宮内千鶴子、森永清治、安井江、山口吉昭・久美、横溝愛子、横溝貞祐

(以上891, 675円)

献品

安部田欽也(集書、イオン九州(株)イオンモール福岡(クリスマスプレゼント一式)、入山秀人(食食用エプロン他一式)、大場清子(マスケ他)、(株)ロジテム九州(ケーキ、くぼらコーポレーション(ケーキ)、栗ヶ沢バプテスト教会(石鹸他)、小森悦子(食食用エプロン)、笹倉典子(ヘアスプレー)、障害福祉事業所大隅シオン舎枕カバー他)、西南学院高等学校後援会母の会(食食用エプロン他)、高木妙子(手提げバッグ)、特定非営利活動法人大隅シオン舎(食食用エプロン他)、仲村文紀(もち米)、名雪賢一(コーヒー)、西日本新聞民生事業団(ケーキ)、秦教子(アンビュバック一式)、福岡友の会(食食用エプロン他)、福岡丸本(ケーキ)、福田靖(切手)、洲上三和子(ハンドメイド作品)、古後真奈美(食食用エプロン他)、古後明朗(エプロン一式)、宮内千鶴子(集書、安井洋子(食食用エプロン)、山崎製パン従業員組合福岡支部(ケーキ)、匿名(りんご他)

(以上15, 465円)

献金申込先

1.《郵送》

社会福祉法人 バプテスト心身障害児(者)を守る会

〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869 久山療育園重症児者医療療育センター内 ☎(092) 976-2281(代)

2.《郵便振込》郵便振替【01720-8-24404】名義：バプテスト心身障害者を守る会

3.《銀行振込》西日本シティ銀行久山支店 普 71888 名義：バプテスト心身障害児(者)を守る会 理事長 宮崎信義

4.《ホームページ》当センターホームページから、クレジットカードによる寄付が可能となっています。「寄付金のお願い」より開いてください。また、郵便局振込用紙もパソコン画面よりダウンロードすることができますのでご利用ください。

個人、会社共に免税の対象になります。メール：hisayama@hisayama-smid.jp



藤田 英彦

久山療育園は、開所以来「ミットレーベン(共に生きる)」を合言葉にしながら「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」第2コリント4・18の聖書の言葉を大切にしてきました。

この『愛の手を』が手に届くのは、今年2022年「復活節」の頃と思います。

この原稿を書き始めた今日は3月11日、東北震災と津波による東京電力(株)の原発事故発生から11年を迎える日です。自然災害と、人間の傲りによる災害、加えて世界に多くの感染者と死者を出し続けるコロナ禍、伝えられるオミクロン株の感染は、今後どうなるのでしょうか？兎にも角にも先ず静まって創世記第1章の「天地創造」の記事と、ローマ8・18以下の「被造物に関する

執成しの祈り」の箇所を読み、天地創造の父なる神に祈りました。

この世界的な、自然災害と人為的災害による「医療問題」と共に、その影響から経済諸問題だけでなく、社会的に、世界的に、「隔離と分散」「相互不信、相克」「個別化」等々、『共に生きる』人間の営みが極端に失われつつあります。

世界的に情報氾濫の時代ですが、11年を経た東北地方被災地住民の声も深刻です。

また、ロシア、プーチン大統領の、帝政ロシア時代の領土回復を企図する非人間的暴虐侵略行為とウクライナの忍耐。「民主主義」を声高く叫ぶバイデン米国大統領、EU及びNATOの動き。世界に高まる「恐れと不安」は『核暴発』による世界大戦です。この間、それぞれのリーダーの「覇権主義」に基づく独善が心配です。

実は1972年、日中友好条約締結の年の復活節に、『ロシアバプテスト連盟』から「公式招聘」された『日本連盟』の長として、『献血運動』を「名も知れぬ他者のため十字架上で自らの血を流されたイエス・キ

リストの『愛』に倣うことだと」

世界に展開された大林静男博士や、女性連合代表の野村女史らと共に、モスクワをはじめキーウ(キエフ)等幾つかの教会を訪ねました。時のソ連は共産圏でしたが、個人の信仰は認められており、バプテストは、キリスト教最大派でソ連全土で約50万人ぐらゐの信徒と豪語していました。モスクワ教会は、約5千人余の教会員でしたが、朝の主日礼拝の座席の殆どは老壮男女で満席で、ベンチ脇、講壇周辺の通路には多くのモスクワ大生ら青年男女が、満席でぎっしり立った2,500人ぐらゐでした。その姿で2時間余の礼拝中立っているのです。夕拝は約千人余で、教会周辺の1ブロックは許され、それ以上は逮捕されるところでした。

モスクワからキーウに行きましたが、キーウの街の真ん中に大きくドニエプル河が流れ、その東西を割って大きなプラタナスの並木道が通っていました。その道は、バプテスト通りとも言われ帝政ロシア時代に沢山の人がドニエプル河でバプテストを受け、その並木道に溢れたというので付けられた名前と聞きました。ウクライナ全体

は、当時もカトリックの勢力が強く、今テレビの映像で見る美しいキーウの大きなビルにカトリック教会の建築物も見受けられました。それと障害者施設、病院等の眼を覆いたくなる惨状に本当に心が痛み、憤りを覚えます。キーウのカトリック教会の地下で見た壁画「イコン」を忘れることが出来ません。キーウのバプテスト教会は200人程の日本に似た教会堂でした。ロシアとウクライナは、大統領達の名前でも判るように同じスラブ系の人種です。

私達がソ連を去る日「日中友好条約」が成立し、帰国後暫くして、1985年以降、ゴルバチョフの時代に、4月にはチェルノブイリで原発事故等が続き1989年、「ソ連共産党」が崩壊し、ベレストロイカ(東西冷戦)が終結したときは世界中が『ようやく世界に戦争のない平和が訪れる』と、心から喜び合いました。

その後、モルドバ、ベラルーシ、ウクライナ等、コーカサス3国、グルジア、アゼルバイジャン、アルメニア、カザフスタン国などの国々が「東欧民主化革命」を行い、『ベルリンの壁』崩壊の端緒を開き、NATO参加

への道を造りました。

「見えるものではなく、見えないものに眼を注ぐ。」は、第二コリント第4章、特に7節「わたしたちは、このような宝を土の器に納めています。」以下のイエス・キリストの復活に関わる。「この並外れて偉大な力が神のものであって、わたしたちから出たものでないことが明らかにするために。8・9節」わたしたちは、四方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない。10節「いつもイエスの死を体にとつています、イエスの命がこの体に現れるために」。…以下のイエス・キリストの十字架と復活にあやかるものの生き方の記事に続く箇所です。

久山療育園に関わる一人ひとりも、園内のみならず、全世界に向かって「ミットレーベン(共に生きるよう)」と叫ぼうではありませんか！

ミットレーベン・ネットワークより

『共に生きる』が問われている

街頭募金で頂いたお金を勘定してもらうのに手数料がかかるというニュースには、各団体から戸惑いの声があがっている。私たちが天神で行っている募金の場合、通常、募金箱に入っている金種で一番多いのは100円硬貨である。10円玉だけを入れる人はほとんどいないが、母親が子供にも入れさせる場合などには、そういうこともあるのかも知れない。

男性の中には、小銭入れやポケットの中から無造作に掴んで入れる場合もある。だから、すべての金種が混じっている。また、時には外国通貨や磨滅した硬貨、メダルなどが交じることもある。これらが機械の故障の原因になるようだ。

そういう理由はわからないではないが、庶民のささやかな善意である街頭募金という手段で得られたお金に、手数料をかけるというのは世知辛く、情けない気持ちがある。まさしく、郵政民営化の弊害である。これは、街頭募金という手段に依拠せざるを得ない「弱い者」に対する「いじめ」ではないであろうか。

募金をしてくれる人の多くが、まずチラシを受け取って、買い物か用事が終わってから、再び足を運んで募金をしてくれているように思う。予めお金を用意して、私たちがいる場所に戻っ

て来るのである。私たちは硬貨であろうがお札であろうが、どのようなお金であっても、頭を下げて、「有り難うございました」とお礼を言う。私たちを横目に見、無視して通過するのではなく、その存在を認めて、立ち止まり、応答してくださったことに對して感謝をするのである。「久山」という名前が覚えられているのだと感じる。募金という行為には、そういう私たちに對して、「頑張つて欲しい」という意味も含まれていると思ひ、励まされている。

コロナ以降、「共に生きる」力が落ちていと感じている。それは応答の少なさにも、また金額にも表れている。それでも私たちは天神の街角に立ち続けたいと思う。それは、久

山療育園の働きを知ってもらいたいし、重症児者の存在を知って欲しいからである。重症児者が社会の中心で尊ばれる社会になることを実現したいと思っているからである。ただ、その街頭募金が今年になつてから、実施できていない。新たなオ

ミクロン株の流行が原因で、福岡県ではまん延防止等重点措置が出た。この会報が出る頃には是非、解除の状態であつて欲しいと願っている。ただ、このような状況が解消したと

しても、私たちがおこなつて来たボランティア活動が、以前のような状態に戻ることはないのではないだろうか。ボランティア活動とは、手助けを必要とする困難な状況にある人に寄り添う行為である。しかし、その活動は「三密」を避けられず、「ウィズ・コロナ」の状態が続く限り、従来のようなボランティア活動を、これからも続けることができるのかは不確定であると言わなければならない。私たちの「ミットレーベン・ネットワークMit-Leben Network」のミットレーベンとは、「共に生きる」のドイツ語であるが、今、そのMit(共に)が問われている。

2月末にウクライナにロシア軍が侵攻し、市民の命と生活が脅かされている。攻撃の目標もインフラなどの市民生活に関わるものから、次第に一般住民へとエスカレートしている。多くの人たちがポーランドなどの隣国に逃れているが、様々な事情があつて国内に留まらざるを得ない人たちは、防空壕やシェルターに避難しているのであろうか。ウクライナでは、第二次世界大戦の独ソ戦の際に、国家主義者たちがナチス・ドイツに協力して、国内のユ

ダヤ人やロマなどマイノリティの人々を虐殺した歴史を有している。戦争という非常事態の中で、弱い者の人権が最初に脅かされる。重症児者も含めて、どんな理由があつても、「生きるに値しない生命はない」のである。

(重症児者と共に生きる

「ミットレーベン・ネットワーク」

会長 伊原幹治)



ボランティアだより

『2021年度
ボランティア活動の振り返り』

前年12月～ 活動休止
 7月 一部活動再開（午前中2時間のみ）
 8月 活動中止
 10月 一部活動再開（午前中2時間のみ）
 オンライン交流（古賀教会）
 11月～12月末 活動拡大（14時まで）
 12月 オンライン交流
 （西南学院大学ボランティアセンター）
 1月 活動中止
 3月～ 一部活動再開（午前中2時間のみ）

在籍数89名。これまで通り、来ていただけるよう登録は自動更新させていただいております。

コロナで活動を自粛する中、新規で申し込んでいただいた方もおられましたし、活動再開時にはたくさんの方々にご協力いただきました。オンラインで、なかなか会えない方との交流ができたことも大きな収穫でした。

次年度も、皆さまのボランティア活動への熱い思いをしっかりと受け止め、職員一同お待ちしております。本当にありがとうございます。

（ボランティア委員会 陣内晶子）

【専用メールアドレス】

ボランティアに関するお問い合わせの方法として、専用メールを開設しています。「興味があるけど、どんなことするのか心配…」「行ってみたいけど、手続きは？」など、いつでもご質問いただけるようになっています。

お気軽にご利用ください。

bora@hisayama-smid.jp



歩 行 器

2022年度も久山療育園では、退職者補充として9名の新しいスタッフを迎えスタートしました。希望と情熱を胸に、業務にあたっているだけと期待しています。

清流の川は常に水が流れています。久山療育園も多くはありませんが、川の流れのように毎年スタッフの入れ替わりが続いています。そして、少しずつ変化しています。しかしながら、変わってはならないものは聖書の御言葉に立つ久山療育園の設立理念です。「われわれは、重症児が社会の片隅に収容されて生きるのではなく、むしろ地域の中心に位置づけられる事を願う」。

これまでの2年間コロナ禍により、運動会やワークキャンプ、開園祭、クリスマス礼拝と、保護者の方々や諸教会員の方々、地域住民の方々の出席を制限しており、交流も希薄となってきました。今年こそは一日でも早くコロナ禍も収束し、従来通り多くの方々を招き、行事が開催されたいと願うばかりです。

事務職の私は、利用者さんへのコロナ感染を避けるため、病棟への立

ち入りを最小限にしています。そんな中先日、車椅子でリハビリ室に向かう利用者さんに出会いました。「おはよう、こんにちは」と声を掛けると、笑顔で答えてくれました。その時の笑顔のなんととも言えない明るさに、私は安らぎと大きな喜びを感じました。

私たちの命について、鈴木秀子シスターは著書『生かされる理由』に次のように述べています。「人知を超えた神聖な力によって、あなたは、この世に生を享け、今まで両親や先生や、さまざまな人々の愛を受け、神の愛が降り注がれているわけです。身体が自由が利かず、何ひとつできず、人のお世話になるだけの人でも、愛によって生かされていますから、人は誰でもかけがえない存在なのです」と。

私たちが生きていく上で、最も大切なことは、命は無償で与えられているゆえに、自分と同じに、自分の周りの人々も尊い命があることを自覚することだと改めて教えられました。

気が抜けません。入所者や利用者の方々がコロナ禍の中でも生き抜いていただけるよう、そして一日でも早く日常生活が戻ってくるようにと祈るばかりです。

（H・N）